トーエー

水の流れ水の形

6年生
12月



ニスをぬるとより水らしくなります!

できた!を生み出すポイント

ふくろ袋入り3色のキラキララメと色砂を

袋から流れ出た色水は・・・

ブルーの液体のりと混ぜて水のように作品に流します!





薄くのばせて、焼き物のように固くなるねんど使用!

※作品にはニスをぬっています

つくり方動画はこちら



手もよごさずにらくらく水の流れがつくれます!



「水の流れ」を表現するのにちょうど良いかたさのブルーの液体のり

きれいな「水の流れ」を体験して表現できます。

①ねんどをねる



包そう紙を開ける前に軽く四方をたたきつけ、ねんどをほぐす。中身を取り出しよくねる。

②形をつくる



「水」が流れるようすを想像して、上から下に流れやすいような作品を考えてつくる。

③よくかんそうさせる



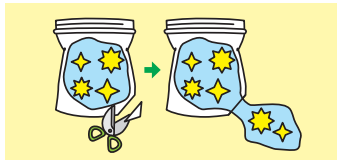
風通しが良く、直しゃ日光のあたらない屋内で良くかわかす。

④流す色水をつくる



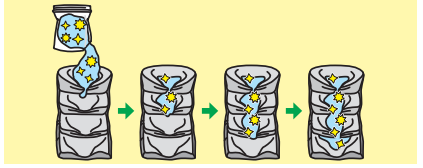
ラメや砂の入ったビニールふくろに液体のりを入れてジッパーをしめる。中身をよく混ぜて4色の色水ふくろをつくる。(液体のりは1/4ずつ分けて使う)

⑤色水を流す準備



色水をしぼり出しやすいようにふくろの下の方に集める。ふくろの下のスミを少しはさみで切る。(穴が大きすぎると色水が一度にたくさんでるので注意しましょう)

⑥つくった色水を流す



つくった色水は白→黄→緑→砂(青)の順番で作品の上から流す。4種類の色水の流れを楽しもう。(つぶの大きい砂は後から流しても重さで下にしずみます) ※あわはようじなどでつぶしてください。水の流れを調節したい時は作品の向きを変えてみましょう。

⑦ニスをぬって仕上げる



のりが完全にかわいたらニスをぬって仕上げる。ニスをぬると色水がより水らしく見えます。

3つの特長

1. 水の流れや水の溜まる形を思い浮かべながら、粘土で水を感じる形をつくる
2. 薄くのばせて、教科書通りの作品にしやすい粘土
3. 水として流すのに良いかたさのブルーの液体のり
4. 4色の砂やラメは色水をつくれるビニール袋入り

セット内容

石粉ねんど …… 1　ラメ(白) …… 1
液体のり(ブルー) …… 1　ラメ(黄) …… 1
色砂(青) …… 1　ラメ(緑) …… 1
※セット用チャック付き袋はねんど保管袋になります

用具



トーエー
株式会社 東栄社
東京都葛飾区奥戸7-8-4　03-3691-1881　www.e-toei.co.jp

内装袋:PE [16-1426]

四校 3Y 3M 3C 3K

2026	初校	2校	3校	4校
	6/17	6/24	6/29	6/30